

令和4年度 学校関係者評価委員会の評価報告

奈良文化幼稚園

1.学校関係者評価実施日 令和5年3月31日(水) 13時00分～

2.参加者 園長、副園長、主任、教諭、評価委員(3名)、事務員 計8名

この度、学校関係者評価を行う評価委員を設置し、令和4年度 自己評価公表シートをもとに園長を中心として、評価委員に評価をしていただきました。

○自己評価公表シートを受けて

【大項目】Ⅰ 教育活動に関するもの

- ・コロナ禍により、子どもの様子がなかなか見ることができなかったが、卒園式の同時配信があったり代わりの何かを実施してもらえたことがよかった。コロナへの意識が高い保護者の方が多く、クラスター等大きく広がるようなことがなく過ごせて安心した。今後は、5類になるのでコロナ禍前の状態に戻してもらいたい。
- ・育友会の方や保護者の方が子ども達を中心に考えて工夫を凝らして活動していることを強く感じた(あおぞら読み聞かせ・あおぞらコンサートなど)。子どもの喜ぶ姿を見ていると保護者の活力につながる。本部役員以外でも何か幼稚園でできないかと動こうと考えてくださる保護者の方がたくさんおられるのがうれしい。
- ・パン Day の取り組みにより、お金のやりとりを学んだり、買い物の経験をしたり、そしてこのことが日々の遊びにつながっていくことがよかった。
- ・奈良っ子はぐくみ自然保育認証施設として認証され、園庭で園児が自由に遊んでいることが良いと感じた。この園庭は、挑戦する心・考える力・達成感も養うため、一部の遊具は誰でも簡単に遊べる設定にしていないところがよい【例：高いブランコをこぐ場合、全身を使って上にのぼることが前提となる。ターザンロープで遊びたい場合、腕の力がなければその場所に辿り着くことができない設定にしている。】。
- ・縦割り保育で異学年との交流により、上の学年が思いやりをもってお世話をすること。下の学年は言うことを聞いてなかよくすることなど人に対する接し方を自然と学んでいると感じた。
- ・設定保育で、絵画や制作を自分の感性でのびのびと描かせてもらえているので、豊かな発想力及び自発的に自分の思いを大切に組み立てる環境が良いと感じた【例：常識の色に捕らわれず、様々な色(自由な感性で表現)を使用している。自分で持てないくらい大きな作品を作っている】。

【大項目】Ⅱ 学校経営に関するもの

- ・コロナ感染対策については、抗菌・抗ウイルスコーティングをしていること、消毒徹底管理していること、園の方針を手紙できっちり伝えてくれたことで安心することができた。
- ・実習生が長期にわたってくることで、園児が実習生に甘えることが多い。たくさんの眼があることはうれしいが先生方が大変だと思う。
- ・行事の前には、子どもが「もっと外で遊びたかった。」ということがあったので、遊びを優先してもらえると嬉しい。

などの意見が出ました。この意見をしっかりと受け止め、今後も職員一丸となってよりよい教育と保育の充実を目指してまいります。